

MySQL 5.0.83 リリースノート（日本語翻訳）

機能の追加と変更:

- Windows 用の時間帯テーブル (<http://dev.mysql.com/downloads/timezones.html> で入手可能) が更新されている ([Bug#39923](#))。

修正されたバグ:

- **レプリケーション**: スレーブがテンポラリテーブルを複製しているときにそのスレーブを停止して再起動すると、スレーブサーバがクラッシュしたり、表明違反が発生したりする可能性があった。テンポラリテーブルはスレーブスレッドの再起動ごとに保存されたが、使用されるスレッドへの参照 (`table->in_use`) は再起動時に正しく更新されず、新しいスレッドではなく古いスレッドを引き続き参照していたため、この問題が発生した。この問題は、ステートメントベースのレプリケーションにのみ影響した ([Bug#41725](#))。
- [UNCOMPRESSED_LENGTH\(\)](#) は、5 バイト未満の文字列を渡すと不要な結果を返した。現在は、[UNCOMPRESSED_LENGTH\(\)](#) は NULL を返して警告を生成するようになっている ([Bug#44796](#))。
- いくつかの Valgrind 警告が抑制されていた ([Bug#44774](#)、[Bug#44792](#))。
- 不正な時間が `mysqldump` 出力の最後にレポートされた ([Bug#44424](#))。
- [UNION](#) クエリの最後の [SELECT](#) が括弧で囲まれておらず、[ORDER BY](#) 句を含んでいる場合、[EXPLAIN EXTENDED](#) がクラッシュする可能性があった ([Bug#43612](#))。
- [SELECT ... INTO @var](#) が、[INTO](#) 句のない [SELECT ...](#) とは異なる値を生成する可能性があった ([Bug#42009](#))。
- [--hexdump](#) と [--read-from-remote-server](#) を併用すると、`mysqlbinlog` がクラッシュした ([Bug#41943](#))。
- カラムリスト句で作成したビューの場合、[HAVING](#) 句を使用したビューで選択を行うと、カラムエイリアスが置換されなかった ([Bug#40825](#))。
- テーブル自己結合に関する複数テーブルの [DELETE](#) を使用すると、サーバがクラッシュする可能性があった ([Bug#39918](#))。
- '#' 文字を含むコメントを使用して InnoDB テーブルを作成すると、外部キー制約が省略された ([Bug#39793](#))。
- `mysql` オプションの [--ignore-spaces](#) が機能しなかった ([Bug#39101](#))。

- クエリが 1054 Unknown column '...' in 'field list' というエラーを生成するようなものだった場合、そのクエリで [EXPLAIN EXTENDED](#) を使用すると、サーバがクラッシュする可能性があった ([Bug#37362](#))。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。